

令和5年度

事業計画書

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

目 次

1	事業運営の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	事業計画	
	<u>スポーツ事業</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	<u>芸術文化事業</u>	
	<u>音楽部門</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	<u>演劇部門</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	<u>美術部門</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	<u>文芸部門</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	<u>その他芸術文化部門</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	24
	<u>生涯学習事業</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	<u>広報宣伝・友の会事業</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	<u>施設管理・全館融合事業</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	29
4	組織図・・・・・・・・・・・・・・・・	31

事業運営の基本方針

1 スポーツ事業

- (1) 誰もが身近にスポーツを楽しめるように、スポーツ教室、施設提供等を通じて、市民一人ひとりが目的や目標を持ってライフステージに応じた多様なスポーツ活動に親しむことができる機会の充実を図ります。
- (2) スポーツ情報の発信を充実するとともに、様々なスポーツ活動を支える指導者やボランティアの人財育成とその支援に努め、市民の活躍の場を創出します。
- (3) 市民の健康保持や健康増進、介護予防等のため、スポーツを取り入れた健康づくり事業を実施します。
- (4) スポーツ団体、事業者等との連携・協力により、市民満足度の向上と市民の利用促進につながる事業を展開します。
- (5) 三鷹市と連携しながら、障がい者スポーツの普及や魅力発信を行うとともに、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広めるための取組を実施します。

2 芸術文化事業

- (1) 地域や施設の特性を踏まえたオリジナリティのある公演事業や展示事業を企画し、市民の皆様に国内外の優れた芸術文化に親しみ、鑑賞する機会を提供します。
- (2) 市民の自主的な芸術文化活動の場として施設を提供し、その活動を支援するとともに、親しみを持って施設を利用していただけるよう、適正な施設運営に努めます。
- (3) 市民が安全・安心・快適に芸術文化施設を利用することができるよう、施設・設備の予防的な保全に努めるため、計画的な点検と改修を実施します。
- (4) 次代を担う子どもたちに芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供することにより、児童・青少年の健全育成に取り組むとともに、学校との連携を図りながら積極的に教育普及事業を実施します。
- (5) 三鷹ゆかりの作家や作品の顕彰事業を推進するとともに、財団が管理する文化施設を適正に維持管理し、公開しながら「文化のまち・三鷹」を発信します。

3 生涯学習事業

- (1) 市民一人ひとりのライフスタイルやライフステージに沿った学習機会を提供するとともに、生涯学習情報を提供し、学習に関する相談体制の充実を図ります。
- (2) 多様化・高度化する市民ニーズに対応した講座を開催し、市民満足度の向上を目指します。
- (3) 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、障がい者、子育て中の市民など学習困難な方々への学習機会を支援します。
- (4) 三鷹市芸術文化協会、事業者等との連携を図りながら多彩な生涯学習事業を展開します。
- (5) 生涯学習ボランティア等の人財を育成するとともに、市民が学習成果を地域に還元することができる活動の場を創出します。

事業の概要

これまで三鷹市の方針等に準拠し、感染防止対策を講じてきた新型コロナウイルスへの対応も、令和5年度に感染症法上の位置付けが5類に移行されることで大きな転換点を迎えます。様々な制限が解除されることによる影響を念頭に置きながら対応するとともに、「after コロナ」の社会を見据え、コロナ禍においてこれまで蓄積したノウハウを生かした事業運営に取り組んでいきます。

各事業においては、事業運営の基本方針に基づき、市民生活に活力を与えられるような魅力ある事業を引き続き実施していきます。

スポーツ事業では、市民のニーズを的確にとらえ、誰もが気軽に参加できるような事業を実施し、「人生100年時代」において、生涯にわたり元気で健やかなスポーツライフを過ごせるよう支援していきます。バドミントン、卓球等の種目別の個人開放事業や働き世代、子育て世代、高齢世代、次世代を担う子どもなど各世代のライフステージとライフスタイルに応じた様々なスポーツ教室事業を実施します。また、市民の健康の保持増進、介護予防等のために、専門的な知識・経験を持ったスタッフにより一人ひとりに合った運動プログラムを提供する健康・体力相談事業を実施します。三鷹市体育協会、地域スポーツクラブ等との連携事業やスポーツイベント、障がい者スポーツ教室などの事業を実施します。

芸術文化事業の各部門では、各文化施設においてオリジナリティのある事業を展開することにより、「文化の薫り高い三鷹」を目指して芸術文化の振興に努めていきます。

音楽部門では、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会ほか、国内外トップクラスのクラシックの音楽家、クラシックやジャズ、ロック、ポップミュージック、ワールドミュージック他幅広い音楽体験を基にジャンルを横断する独自のプログラムを組むアーティストの公演を開催し、新たな聴衆を惹きつけ、ジャンル毎ではない聴衆の醸成に努めます。みたかジュニア・オーケストラは、引き続き演奏技術の向上と活動の充実を図るとともに、団員募集に力を入れてまいります。市内公立小学校全校への訪問演奏（三鷹市教育委員会からの受託事業）、夏のファミリーコンサートに加え、未就学の子どもと家族を対象とした本格的な演奏会と体験講座を組み合わせた企画を実施し、幼い頃から音楽に親しめる環境作りに努めます。

演劇部門では、若手劇団の登竜門として定着しつつある MITAKA “Next” Selection をはじめ、今後の活躍が期待される劇団による、三鷹だけでしか見られないフレッシュな演劇企画を実施します。また、三鷹市ゆかりの作家太宰治を偲び太宰治朗読会も開催します。映画事業は、洋画や邦画の名作を上映します。さらに、親しみやすい伝統芸能として多くの集客を得ている落語公演・狂言公演では、人気も実力も兼ね備えた落語家・狂言師による公演を開催します。

美術部門では、4回目となる「収蔵作品展Ⅳ」、千代紙、団扇、便箋などの江戸時代から続く小間紙（こまがみ）の歴史と美しさを紹介する「千代に八千代に 暮らしを彩るデザインと小間紙の世界展」の2展示事業を実施します。異なったジャンルの展示により来場者層を広げるとともに、三鷹市教育委員会やNPO団体との連携を図り、教育普及事業の展開を探ります。

文芸部門では、三鷹市山本有三記念館において、武士を描いた作品や山本有三の活動を支えた住まいの系譜に着目した企画展を開催します。ガイドボランティア事業では、ガイドボランティアの養成講座を実施し、来館者サービスの更なる充実を図ります。また、令和6年が山本有三の没後50年にあたることから、記念事業として5年度、6年度の2カ年にわたり市場に流通していない作品を文庫本として復刊し、作品の周知や今後の企画展との連動に努めます。教育普及事業では、子どもを対象とする「おはなし会」やワークショップ、建物探検イベントを実施します。また、スケッチコンテストや館内で楽器演奏を鑑賞する「アフタヌーン・ミニコンサート」や朗読会を開催し普及・啓発に努めます。太宰治文学サロンでは、来館者がコーヒー等を飲みながら「山内祥史文庫」や寄贈書籍を閲覧できるブックカフェとしてのスペースを提供するほか、太宰治作品朗読会を毎月開催します。さらに、太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」では、作家や芸術家との交流を通じて太宰の生涯及び作家活動を描く企画展示を開催するほか、太宰治の魅力を発掘する読書感想会を開催します。太宰治文学サロンと太宰治展示室の回遊性を高めることにより「太宰が生きたまち三鷹」の発信力を更に強化します。みたか井心亭では、茶道体験教室と華道体験教室を開催し、日本の伝統文化を体験できる機会を提供するとともに、施設の活用に努めます。三鷹市が計画している「吉村昭書斎（仮称）」移築整備事業に関しては、引き続き専門的な観点から助言等を行っていきます。

生涯学習事業では、年間を通じて実施する市民大学事業をはじめ、人財養成講座、趣味・教養講座、小・中学生向けの体験講座など、社会情勢や市民の声を踏まえた事業を実施し、多くの市民に学習の機会を提供します。コロナ禍で変化した市民のニーズに対応するため、オンラインによる講座やZoomオンラインの使い方講座を実施します。また、個人の生涯学習を支援するため、学習室の一部を開放する学習スペース開放事業を実施します。特に夏休み自主学习スペース開放事業については、若い世代の生涯学習センターの利用を促進するため、終了時刻を従来の午後5時から午後8時に延長して拡充を図ります。そのほか、生涯学習センターの自主グループが中心となって企画する生涯学習センターフェスティバル、個人やグループからの学習要望に応じる相談業務を実施します。

広報宣伝・友の会事業では、情報誌（MARCL+）と広報紙（Mitaka Sports and Culture News）を財団全体の事業を発信する主要な媒体と位置付け、情報発信の充実を図るとともに、ホームページやツイッター、プレスリリースなどを利用した広報活動を行います。また、友の会会員への特典では、公演チケットに関するサービスに加え、引き続きスポーツ教室体験チケットの提供を実施します。

施設管理・全館融合事業においては、設備、備品の適切な維持管理を行い、市民が安心して訪れることができる快適な施設環境を整えるとともに、利用者サービスの向上に持続的に取り組み、施設利用率の向上を目指します。また、令和5年度は、東京都の野川大沢調節池規模拡大工事のため、平成28年度から利用を停止していた三鷹市大沢野川グラウンドの再開に当たり、財団が指定管理者として、施設の維持管理を行っていきます。

また、新たに元気創造プラザ内の各施設で構成する連携委員会の設置、全館イベントの開催等を行う全館融合業務を市から受託し実施します。

<事業分類の説明>

●自主事業（定款第4条 第1号事業）

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「財団」という。）が、三鷹市等から助成を受け、主体的に企画運営するスポーツ、芸術文化及び生涯学習の振興に資する事業

●指定管理事業（定款第4条 第2号事業）

指定管理者の指定を受けた財団が実施するスポーツ施設、文化施設、生涯学習施設及び公園等の管理運営に関する事業

●受託事業（定款第4条 第3号事業）

専門性を有する財団が、三鷹市等の委託を受けて行うスポーツ事業、芸術文化事業及び生涯学習事業

◇教育普及事業

芸術文化事業（音楽・演劇・美術・文芸・その他）において、市民の興味、関心等を高めるために実施しているワークショップや講座などの体験・参加型プログラム、若年層向けの育成型プログラムなどの事業

スポーツ事業

<令和5年度の特徴的な取組等>

- スポーツ教室事業において、新たに「オンラインプログラム」を導入し、時間や場所の制約がない環境で楽しめるスポーツ教室を試験的に実施します。**新規**
- 三鷹市体育協会等との連携事業において、幼児から小学生（小学3年生以下は親子で参加）を対象に「すもう体験教室」を実施し、土俵（多目的体育室）という古式ゆかしい舞台で法礼に則り、技と力を競い合う体験をしていただきます。
- 種目別個人開放事業において、競技会場である軽体操室が、ワクチン接種会場となっていたため中止していた「ボルダリング」を再開します。（新型コロナウイルス感染症の状況により変更の場合あり）

自主事業（6事業）

1 健康・体力相談事業

市民の健康の保持と健康増進、介護予防等のため、トレーニング室で「健康・体力相談事業」を実施します。健康・体力づくりを支援する専門的な知識・経験を持ったスタッフが、一人ひとりに合った運動プログラムを提供します。さらに、スポーツを日常生活に取り入れることで継続的な健康づくりを支援し、市民の健康増進を図ります。（予約制）

2 スポーツ教室事業

ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ教室を開催します。スポーツ教室では様々な世代の方の、各自の体力やスキル・レベルの違いに対応したプログラムや介護予防などを目的としたプログラムを実施します。また、子育て世代をターゲットに、お子様がキッズ教室を受講中に保護者の方が同時刻にワンコイン（500円）で受講することができる教室や、自宅でスポーツができるオンラインプログラムを実施します。令和4年度に引き続き各スポーツ教室の開始時に、可能な範囲で「三鷹体操」又は「みたかダンス」を取り入れます。 各4クール（1クール3か月）

① 定期教室	1クール	100教室	計 400教室
② ワンコイン教室	1クール	20教室	計 80教室
③ パーソナルスイム教室	1クール	6教室	計 24教室
④ オンラインプログラム	1クール	1教室	計 4教室

3 地域連携事業

(1) 親子バスケットボール教室（協力：日本無線株式会社）

親子で参加する教室を通して、親子のふれあいや参加者同士の交流の場となるよう「親子バスケットボール教室」を開催します。 1回

(2) 子ども向け運動教室（仮称）（協力：未定）

運動が苦手な子どもが体を動かすことの楽しさを感じ、遊びながら運動発達に必要な基本動作を身に付けることを目的に「子ども向け運動教室（仮称）」を開催します。
2回

4 三鷹市体育協会等との連携事業

(1) ちびっこ水遊び教室

三鷹市体育協会加盟団体の三鷹市水泳連盟と連携し、就学前の子どもの水慣れと親子のコミュニケーションを目的に「ちびっこ水遊び教室」を開催します。 1回

(2) すもう体験教室

三鷹市体育協会加盟団体の三鷹市相撲連盟と連携し、初めて相撲を体験する幼児から小学3年生までの親子と4年生から6年生までの小学生を対象に「すもう体験教室」を多目的体育室で開催します。 1回

(3) その他のスポーツ教室

三鷹市体育協会、地域スポーツクラブ等が主催するスポーツ教室を開催します。

5 三鷹市との共催事業（スポーツイベント事業）

(1) みたかスポーツフェスティバル

「みたかスポーツフェスティバル」を三鷹市と共催することにより、著名人による親子体操教室、ボッチャ体験会、パラスポーツ体験会や展示等を開催し、スポーツに親しむ機会の提供やSUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。 1回

(2) 三鷹市民駅伝大会

「三鷹市民駅伝大会」を三鷹市と共催することにより、市民スポーツの推進と交通安全、防犯、青少年の健全育成などの啓発を図り、明るく健康的な市民生活と活力に満ちたまちづくりに寄与します。また、関連講座として「ランニングのためのコンディショニング講座」を開催します。 1回・1講座

(3) ボッチャみたかカップ

「ボッチャみたかカップ」を三鷹市と共催し、パラリンピックの正式種目でもあった「ボッチャ」を、幼児から大人まで、障がいのある方も含め幅広い層で楽しめます。市内におけるボッチャの普及や多世代交流を進め、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める機会を提供します。 1回

(4) 東京ボッチャ選手権大会（兼関東選手権大会東京予選会）

東京ボッチャ協会及び三鷹市と「東京ボッチャ選手権大会」を共催し、障がい者スポーツの普及や魅力発信、障がいへの理解を広める機会を提供します。当該選手権大会は、令和4年度から令和6年度までの3年間、三鷹市で開催される予定です。 1回

6 スポーツと健康の調査・研究事業

令和4年度から研究を開始したスポーツと健康の相関関係等について、スポーツ関連の大学やスポーツクラブ等の協力を得て、引き続き調査・研究を行います。

指定管理事業（4事業）

1 障がい者スポーツ教室事業

(1) 障がい児サッカー教室

支援が必要な未就学児と教育支援学級に通う小学生等を対象に、スポーツのきっかけづくりとなる初心者向け「障がい児サッカー教室」を開催します。2回



障がい児サッカー教室

(2) 障がい者ダンス体験教室

年齢や性別、障がいの程度に関わらず、誰でも体を動かす楽しさを体験することができる「障がい者ダンス体験教室」を開催します。 1回

2 種目別個人開放事業

少人数でもスポーツを楽しむことができるよう、個人を対象とする体育施設の「種目別個人開放事業」を実施し、SUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。種目は、次のとおりです。

- | | |
|------------|--------|
| ① 卓球 | 週1日～2日 |
| ② バドミントン | 週1日～2日 |
| ③ ヨガ、ストレッチ | 週1日～2日 |
| ④ バスケットボール | 週1日～2日 |
| ⑤ ボルダリング | 週1日～2日 |

3 スポーツボランティア支援事業

(1) 熱中症対応講習会

スポーツ大会などのイベント開催時の熱中症予防策や発症した方に対する適切な対処法を学ぶ「熱中症対応講習会」を開催します。 2回

(2) 普通救急救命講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に事故などが発生したとき、救急隊員が到着するまでの間にとるべき適切な対応を学ぶ「普通救急救命講習会」を開催します。 2回

(3) 障がい者対応スキル講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に障がいのある方が、楽しく、安全で安心してイベントに参加していただけるよう必要な知識や対応を学ぶ講習会を開催します。 2回

4 弓道・アーチェリー講習会事業

(1) 弓道初心者・初級者講習会及び技量認定会

弓道未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 36回（月3回）

(2) アーチェリー初心者・初級者講習会及び技量認定会

アーチェリー未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 48回（月4回）

受託事業（1事業）

1 三鷹市総合保健センターとの連携事業

(1) 体成分測定と簡単運動教室（特定健診受診促進事業）

特定健診を断続的に受診している方を対象として、体成分測定による詳しい診査結果の説明を行い、生活習慣病予防・改善を目指した簡単運動教室を三鷹市から受託して開催します。 1回

(2) 特定健診フォローアップ教室

特定健診を受診した方のうち、診査結果が一定の値を超えた方を対象として、3か月コース（月1回）の運動教室を開催します。1か月目と3か月目に体成分測定を行い、運動効果を実感することにより、生活習慣病予防・改善のための運動習慣を身に付けることを目的としたフォローアップ教室を三鷹市から受託して開催します。 1回

スポーツ事業合計 11 事業（令和4年度比 1 事業増）

芸術文化事業

音楽部門

<令和 5 年度の特徴的な取組等>

- ミレニアル世代のアーティストによるコンサートにおいて、令和 4 年度に実施し好評だった「江崎文武 Live at 風のホール」「LEO 箏リサイタル」公演のような、ジャンルや時代、世代の垣根を超えて魅力的な音楽を生み出している国内のアーティストの選出を予定しています。
- ファミリーコンサート事業において、新たな取組として、絵本の読み聞かせの中に親しみのある名曲を織り交ぜながらお届けする形式の「絵本読み聞かせコンサート」を星のホールで実施します。新規

自主事業（15 事業）

1 鑑賞事業（12 事業）

(1) トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア



沼尻竜典 氏



©Yusuke Takamura

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

芸術文化センター風のホールを活動拠点とする室内オーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会を 2 公演開催します。同楽団の音楽監督は、びわ湖ホール芸術監督で、2022 年 4 月から神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督も務めている三鷹市出身の三鷹市名誉市民 沼尻竜典氏です。各公演とも公開リハーサルを行うほか、沼尻氏による市内小学校への訪問授業を実施します。 2 公演（第 87 回定期演奏会・第 88 回定期演奏会）・3 講座

(2) ネマニャ・ラドウヴィチ presents ドゥーブル・サンス

超絶技巧、圧倒的なパフォーマンスで魅了するセルビア出身のヴァイオリニスト、ラドウヴィチが、自ら率いるアンサンブル、ドゥーブル・サンスと共に 2013 年 10 月以来 3 度目の登場です。プログラムはクラシック音楽、ワールドミュージックなどジャンル横断の刺激的なプログラムを披露する予定です。＊令和元年度の振替公演です。

1 公演

(3) ジョヴァンニ・ソッリマ 無伴奏チェロ・リサイタル

巨匠リッカルド・ムーティ、ヨーヨー・マ、2CELLOS が絶賛するチェリスト、ソッリマの無伴奏リサイタルです。バロック音楽からロック、ワールドミュージックなどジャンルを横断する多彩なレパートリーが魅力。公演に先駆けて、即興演奏のワークショップを開催します。＊令和 2 年度の振替公演です。 1 公演・1 講座

(4) ティボー・ガルシア ギター・リサイタル

現在のギター・コンクールの最高峰と称されるアメリカの GFA 国際ギター・コンクール第 1 位受賞(2015 年)のスペイン系フランス人ギタリスト、ティボー・ガルシアのリサイタルです。映画「マチネの終わりに」(2019 年秋全国公開)には天才ギタリスト役での出演、日本テレビ「アナザースカイⅡ」では俳優の石田ゆり子との共演で話題となりました。＊令和 3 年度の振替公演です。 1 公演

(5) カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ



©Vitorio de Pinto

中世から南イタリアに伝わる伝統音楽を研究するために 1975 年に創設されたバンドの初来日公演。リーダーのマウロ・ドゥランテは、風のホールでの「アッコルドーネ」の公演(2010 年)に最年少ゲストとして出演。変幻自在に多彩な音色を操るイタリア特有の大型タンバリンとヴァイオリンの演奏が話題となりました。ダンスのワークショップ、文化講座の開催も予定しています。＊令和 3 年度の振替公演です。 1 公演 2 講座

(6) イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)with クリスティアン・ベザイデンホウト(チェンバロ) & クリスティン・フォン・デア・ゴルツ(チェロ)

現代最高峰のヴァイオリニストの一人、イザベル・ファウストは過去2度、風のホールに登場。彼女が厚い信頼を寄せる仲間たちと取り組む室内楽演奏は絶品。今回は、フライブルク・バロック・オーケストラの音楽監督でフォルテピアノ&チェンバロ奏者のクリスティアン・ベザイデンホウトと、チェリストのクリスティン・フォン・デア・ゴルツとのトリオでのコンサートを行います。 1公演

(7) フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル



©Ryuya Amao

バッハ若しくはそれ以前の音楽及び近現代音楽、テクノをはじめとするエレクトロニック・ミュージックを自在に行き交う演奏活動と、坂本龍一のキュレーションによる「Glenn Gould Gathering」(2017年)、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」大河紀行での演奏も話題となったフランチェスコ・トリスターノ。2017年7月以来4度目の登場となる今回もバロック、近現代、自作曲をシームレスに繋ぐオリジナルなプログラムを披露します。*令和3年度の振替公演です。 1公演

(8) ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル

2012年にブルージュ国際古楽コンクールのチェンバロ部門1位、プラハの春国際音楽コンクールのチェンバロ部門2位で脚光を浴びて以降、欧米でソロ、室内楽、管弦楽、ジャズ・アンサンブルなどで活躍する話題のチェンバリスト、ジャン・ロンドーのリサイタルを開催します。関連企画として、チェンバロ奏者を目指した学生を対象とした公開レッスンを行います。*令和3年度の振替公演です。 1公演 1講座

(9) ジョルディ・サヴァール&エスペリオン XXI

スペイン・カタルーニャの至宝、古楽界のみならずジャンルの垣根と世代を超えて支持される音楽家、ジョルディ・サヴァールの風のホール3度目の公演。今回は「ルネッサンスとバロックのダンスと変奏曲 古い世界から新世界へ」とタイトルが付けられた公演で、イベリア半島とフランス、イングランド、メキシコの年代不詳の民謡から18世紀の舞曲までバラエティに富んだ曲目が披露されます。 1公演

(10) 東京ブラス・ソロISTS

日本を代表するオーケストラ・スタープレイヤーが集結。メンバーは福川伸陽（ホルン／元N響首席）、長谷川智之（トランペット／N響首席）、古賀光（トロンボーン／N響首席）、次田心平（テューバ／読響首席）ほか計5人。ゴージャスで温かみのある金管アンサンブルでクラシック、ジャズ、タンゴ、オリンピック・ファンファーレなど、吹奏楽ファン必聴の多彩な曲目を演奏します。ホルンに関する講座の開催も予定しています。 1公演・1講座

(11) 前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル

日本クラシック界を牽引し、歴史的な大巨匠たちとの共演を重ねてきたヴァイオリニスト、前橋汀子のリサイタルを行います。前橋汀子は2022年3月以来4度目の登場。2022年に演奏活動60周年、2023年12月には80歳を迎える前橋汀子による、ヴァイオリンの名曲集をお贈りします。 1公演

(12) ミレニアル世代のアーティストによるコンサート

20代から30代前半の国内のアーティストにターゲットを絞り、ジャズ、クラシック、ロック、実験音楽、アンビエント・ミュージック、現代アートに関心のある新たな聴衆の掘り起こしが期待される公演を開催します。 1公演

2 教育普及事業（3事業）

(1) みたかジュニア・オーケストラ



10月及び3月に風のホールで恒例の演奏会を開催します。市内のコミュニティセンターや高齢者福祉施設での訪問演奏会のほか、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア定期演奏会開演前のプレ・コンサート、山本有三記念館アフタヌーン・ミニコンサートに出演するなど、演奏機会の充実を図り、知名度アップに向けた取組を行います。 7公演

(2) ファミリーコンサート

乳幼児のいるご家族を対象にしたコンサートを2公演実施します。「赤ちゃんからのクラシック」では、クラシックの名曲と三鷹ゆかりの作曲家による童謡やジブリ映画の曲、オペラやミュージカルの人気作品を織り交ぜた選曲を行います。「絵本読み聞かせコンサート」では、絵本の読み聞かせを中心としたコンサートを星のホールで初めて実施します。 2公演

(3) 風のホールでピアノを弾こう

小学生から高齢者までの幅広い年齢層の方々を対象に、財団所有のスタインウェイとベーゼンドルファーを弾くことができる機会を提供します。 2 講座

(4) 鑑賞事業に関連したワークショップ・講座等 **再掲**

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア関連講座

ジョヴァンニ・ソッリマ 無伴奏チェロ・リサイタル関連ワークショップ

カンツォニエーレ・グレカニコ・サレンティーノ関連ワークショップ、関連講座

ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル関連講座

東京ブラス・ソロイスト関連講座

受託事業（1事業）

1 教育普及事業（1事業）

(1) 小学校訪問演奏事業

三鷹市教育委員会からの受託事業として平成 17 年度から実施しており、学校の音楽室等で演奏家によるクラシック音楽の生演奏と演奏家と小学生がコミュニケーションを取りながら楽器に親しむ機会を提供します。 30 講座（1 日 2 講座・15 小学校）

音楽部門合計 16 事業（令和 4 年度比 1 事業増）

演劇部門

<令和5年度の特徴的な取組等>

- 劇団 CHAiroiPLIN（チャイロイプリン）『さいあい』において、主役の女子高校生役のほか数名の出演者について、現役の高校生を配役することとし、オーディションを実施します。ダンスと演劇の融合する CHAiroiPLIN のエネルギッシュな舞台の中、プロの役者に混じって高校生が躍動する姿に、演劇の裾野の広がりを期待します。
- CINEMA SPECIAL「邦画特選（仮称）」において、これまでもテーマを決めて特集を組んできましたが、今回は「料理が人を結ぶ、映画特集」と題し、料理や食事が、家族や友人たちを結び、絆を深めていくような心温まる日本映画を集め、市民の方々にほっと一息ついていただけるような映画鑑賞のひとつをお届けします。

自主事業（30 事業）

1 朗読事業（1 事業）

(1) 「太宰を聴く」～太宰治朗読会～第 22 回

今もなお人気の衰えることのない太宰治作品の朗読会を桜桃忌の時期に開催します。過去の公演はいずれも完売となっており、大変人気の高い事業です。出演者は、現在検討中です。 1 公演

2 演劇事業（5 事業）

(1) CHAiroiPLIN（チャイロイプリン）「さいあい～シェイクスピア・レシピ」

小説・童話・落語などをモチーフに、深い洞察力によって、古今東西の名作をダンスパフォーマンスに仕上げていく「CHAiroiPLIN」。その躍動感あふれるステージは、観客の五感と想像力を、大いに刺激していきます。今回は、「人間に好きになってもらうため、シェイクスピアの作品から人間を学ぶ野菜たち」を巡る物語をダンスにしていきます。そして、主役の女子高校生役をはじめとして何人かの出演者には、オーディションで現役高校生を選びます。 12 公演



「さいあい～シェイクスピア・レシピ～」2014 年 2 月 シアタートラム 写真：福井理文

(2) iaku (イアク)「あたしら葉桜」

日本演劇史にその名を残す稀代の劇作家・岸田國士(きしだくにょ)の傑作戯曲「葉桜」をモチーフに、横山拓也のオリジナル戯曲による舞台「あたしら葉桜」を上演いたします。お見合い相手の自分への気持ちをつかみあぐねて、前に進めずにいる娘と、その娘を優しく見守りつつも、心配のあまりつい口を挟んでしまう母。そんな母と娘が織り成す柔らかな心の揺れを丁寧な会話劇として描きあげました。上質な戯曲と、役者の演技力が導く、温かくも切ない珠玉の会話劇。年配の方から若者まで、全ての世代の心に訴えかける、見応えのある人間ドラマです。 12 公演

(3) MITAKA “Next” Selection 24th (若手劇団フェスティバル)

大人の鑑賞にも十分堪える舞台を作り、次の世代を担っていくであろう若手劇団を集めて開催する演劇フェスティバルの24回目です。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げていることから、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの若い市民の刺激となり、演劇の裾野が広がることを期待します。 24 公演

(4) 劇団普通 新作公演

過去、MITAKA “Next” Selectionにも出演し、その筆力と演出力に大きな期待を集める「劇団普通」の新作公演です。 12 公演

(5) 城山羊の会(しろやぎのかい) 新作公演

長きにわたり数多くの人気CMを手掛け、CMディレクターとして著名な山内健司。その山内健司が手掛ける演劇公演は、人間の生きた台詞を自然な形で舞台上に乗せていく、完成度の高い作品となっており、2015年には岸田國士戯曲賞を受賞しました。大人の会話をしっかりと描く、山内健司の新作公演です。 12 公演

3 映画事業(2事業)

(1) CINEMA SPECIAL「名画世界紀行」

名画で世界を旅する企画として開催した令和4年度事業「名画世界紀行」を令和5年度も引き続き上映いたします。 4 公演

(2) CINEMA SPECIAL「邦画特選(仮称)」

毎回テーマを決め、誰もが知る名作から稀有な作品までさまざまな名画を集め開催している映画企画ですが、今回は日本映画において料理や食事をテーマとした作品を集め「料理が人を結ぶ、映画特集」を上映いたします。 8 公演

4 落語・講談事業（21 事業）

(1) 落語・講談（20 事業）

人気と実力を兼ね備えた魅力あふれる出演者をお迎えしての落語会を数多く開催します。

＜出演予定＞柳家さん喬、柳家権太楼、柳亭市馬、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、立川談春、柳家花緑、林家たい平、柳家喬太郎、瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、桃月庵白酒、三遊亭兼好、春風亭一之輔、古今亭文菊、神田伯山、桂宮治 ほか 35 公演

(2) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その 23」

こども寄席は、小学生に生の演芸の魅力を伝える「小学生以上の回」と好評を博している「未就学児の回」の 2 公演を開催します。また、毎年大評判の「未就学児の回のお客様係を小学校 4 年生から 6 年生に担ってもらう体験講座」を引き続き実施します。

2 公演 1 講座



林家たい平（出演予定）



過去のお客様係体験講座風景



5 古典事業（1 事業）

(1) 野村家・茂山家「東西狂言の会」

毎回完売するほどの好評を博している、野村万作・野村萬斎親子と関西狂言の茂山家との競演で贈る「東西狂言の会」を実施します。 1 公演

6 教育普及事業

(1) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その 23」関連講座

再掲

「未就学児の回のお客様係を小学校 4 年生から 6 年生に担ってもらう体験講座」

演劇部門合計 30 事業（令和 4 年度比 2 事業減）

*平成 7 年 4 月から、毎月 1 回、水曜日の夜にみたか井心亭において開催してきた「寄席井心亭」は、令和 4 年 7 月、節目となる 300 回目に千穂楽を迎え終了しました。

美術部門

<令和5年度の特徴的な取組等>

- 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展Ⅳにおいて、作品のタイトルや作家名などの情報を極力排すことで、作品そのものを見てもらうことを重視した方法で展示します。
- 千代に八千代に 暮らしを彩るデザインと小間紙の世界—日本橋はいばらのコレクション（仮称）において、三鷹市美術ギャラリーで定期的に行っている浮世絵展の流れの一環として、同じ伝統木版画でありながらこれまで学術的な研究が遅れていた小間紙（こまがみ）の歴史と美しさを紹介します。同時に、三鷹市ゆかりの竹久夢二と「はいばら」との関わりにも迫ります。

自主事業（3事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展Ⅳ

令和2年度から5回にわたって開催する収蔵作品展の第4回として、会期を前期後期に分け、17作家約280点を展示します。

展示の際には、作家名や作品名などのキャプションは掲示せず、作品に関する情報はペーパーに記述し、必要とする場合はそのペーパーを見ながら作品に対峙することができるようにするなど、見る者が作者となって、今一度作品を再創造する場としての美術館のありようも提示します。

あわせて、関連ワークショップを開催します。 1展示（前期・後期）・1講座

出品作家（予定）：高松次郎、高山良策、辰野登恵子、田中田鶴子、谷川晃一、豊福知徳、中西夏之、中林忠良、野田哲也、ナム・ジュン・パイク、浜田浄、浜田知明、パブロ・ピカソ、彦坂尚嘉、日和崎尊夫、深沢幸雄、福王寺法林

(2) 千代に八千代に 暮らしを彩るデザインと小間紙の世界—日本橋はいばらのコレクション（仮称）

日本橋に店舗を構える「はいばら（榛原）」は、江戸時代から200年以上にわたり和紙や小間紙（こまがみ）を商ってきた老舗です。小間紙とは、木版摺（ず）りで装飾を施した千代紙、団扇、便箋などのことで、手仕事によって生み出されたその装飾用加工紙の数々は、時代ごとの需要に応じて人々の生活を支え、交流を彩るコミュニケーションツールとしての役割を果たしてきました。

「はいばら」では、団扇や便箋など当時活躍した画家たち（柴田是真・柴田眞哉・綾岡有真・川端玉章・河鍋暁斎など）の下図をもとにした商品を販売するほかにも、商品研究の一環として芸術家たちと深い交流を結んできました。とりわけ幕末から明治にかけての三代目当主（榛原直次郎）は龍池会（現・日本美術協会）に入会し、日本青年絵画協会（のちの日本絵画協会）の設立を援助していました。大正時代には、四代目当主と交流があった竹久夢二に便箋、絵封筒、絵はがき、千代紙などを依頼し、彼が欧州に旅立つときに援助をするなど、パトロンとしての役割を果たしていたことが注目されています。

日本の伝統木版画は、浮世絵をはじめ美術品として世界のなかでも高い評価を得て保存・研究の対象となっていますが、庶民の生活と密接に関わり消費されてきた小間紙の研究はまだ途上の段階にあります。

本展覧会では、「はいばら」の協力を得て、伝統木版画の流れを汲みながら見過ごされてきた小間紙の歴史と美しさや豊かなデザインの数々を紹介するとともに、近代日本画界の画家たちを支える一端を担った「はいばら」の役割についても検証します。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。 1 展示・2 講座

出品予定
原画、紙製品、資料ほか
約 200 点



はいばら製千代紙《貝あわせ》 川端玉章デザイン

2 教育普及事業（1 事業）

- (1) 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展 IV 関連ワークショップ **再掲**
- (2) 千代に八千代に 暮らしを彩るデザインと小間紙の世界—日本橋はいばらのコレクション（仮称）関連講演会・関連ワークショップ **再掲**
- (3) 美術ワークショップ
「ワークショップ こどもアートクラブ」を開催します。 1 講座

美術部門合計 3 事業（令和 4 年度比増減なし）

文芸部門

<令和5年度の特徴的な取組等>

- みたか井心亭文化事業において、令和4年度から開始した華道体験教室が好評であったことから、実施回数を増やし教育普及事業の拡充を図ります。
- 太宰治顕彰事業において、太宰治の師である井伏鱒二と密接な関わりがあり、太宰治とも交流のあった林芙美子が生誕120年を迎えることから、新宿区立新宿歴史博物館及び林芙美子記念館と協働で参加型イベント（スタンプラリー）を実施し、新たな利用者層の獲得等を目指します。
- 三鷹市が進める「吉村昭書斎（仮称）移築整備事業」において、吉村昭が作品を執筆した書斎が移設され、展示機能を付加した文学館施設として整備されることに当たり、資料の選定、収集や展示の監修など、開館に向けた準備に取り組みます。

新規

自主事業（みたか井心亭文化事業・2事業）

1 教育普及事業（2事業）

(1) 茶道体験教室

純和風数奇屋づくりのみたか井心亭で、日本の伝統文化を体験していただく「茶道体験教室」を実施します。みたか井心亭で茶会を開催している三鷹市茶道連盟と連携してお茶を点（た）てる等の茶道の基本的な作法を体験していただきます。 6講座

(2) 華道体験教室

純和風数奇屋づくりのみたか井心亭で、日本の伝統文化を体験していただく「華道体験教室」を実施します。みたか井心亭の迎え花の生け込みを委託している三鷹市華道連盟と連携して生け花の基本形を学んでいただきます。 3講座



指定管理事業（山本有三顕彰事業・11事業）

1 展示事業（3事業）

(1) 企画展① 有三の描いた^{もののふ}武士たち—坂崎出羽守から石谷十蔵まで—（仮称）

山本有三が発表した戯曲・小説のうち、武士を描いた作品に注目し、大正10（1921）年発表の戯曲「坂崎出羽守」をはじめとする作品を時代順に紹介します。作品に描かれた武士の生きざまを通して、時代ごとに変容する有三の死生観を探ります。 1展示・1講座

(2) 企画展② 山本有三 住まいの系譜（仮称）

栃木県栃木市に生まれ、進学を機に東京で暮らし始めた山本有三は、昭和 28 年以降は神奈川県足柄下郡湯河原町の家に移り、終生の地としました。有三の作家業にとどまらぬ活動を支えたそれぞれの住まいや、住まいにまつわるエピソード等を紹介します。

1 展示

(3) 没後 50 年記念 復刊本製作事業

令和 6 年が山本有三没後 50 年に当たることから、記念事業として 5 年度、6 年度と連続して市場に流通していない山本有三作品の復刊本の製作に取り組みます。

2 教育普及事業（8 事業）

(1) ガイドボランティア事業

山本有三の生涯や作品、文化財である建物について来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、ガイドの資質向上のための見学会及び研修会を行うとともに、新規ガイドボランティアの養成を目的とした「第 4 回ボランティア養成講座」（全 6 回）を新たに開催します。 8 講座

(2) 春の朗読コンサート

大正末期の建物の風情を生かし、山本有三作品の朗読と作品の雰囲気にならせた楽器とのコラボレーションが楽しめる朗読コンサートを 2 夜連続で実施します。 2 公演



(3) 秋の朗読会

山本有三記念館開館記念日であり、山本有三が制定に携わった「文化の日」でもある 11 月 3 日に、山本有三の暮らした洋館で、作品の朗読会を実施します。 1 公演

(4) 夏休み子どもワークショップ 「文選」おしごと体験～「活字」を組み合わせる「ドット文字」をつくってみよう～（仮称）

夏休み中の小学生を対象に、山本有三作品「路傍の石」の主人公吾一も経験した文選の作業を体験し、作品を身近に感じてもらえるワークショップを実施します。 1 講座

(5) 子ども向け解説「山本有三ってどんなひと？—洋館を探検しながら、山本有三を知ろう—」（仮称）

夏休み中の小学生を対象に、山本有三や山本有三記念館について理解を深めることのできる解説を記念館職員が実施します。解説にあたっては、子ども向けのわかりやすい内容の解説シートを作成し、配布します。 2 講座

(6) 山本有三記念館スケッチコンテスト

山本有三記念館の建物としての魅力と「文化の薫り高い三鷹」を広く発信するため、記念館や有三記念公園を描いたスケッチ作品を公募し、コンテストを実施します。

1 展示

(7) おはなし会

「子どもたちに本を」との思いからミタカ少国民文庫を開設するなど、子どもたちの読書環境の充実に尽力した山本有三の意志を継承し、未就学児を対象としたおはなし会を実施します。また、スタンプカードを活用し、リピーターの獲得を目指します。10 講座

(8) アフタヌーン・ミニコンサート

山本有三記念館の施設の周知と来館者の増加を目指し、来館していただくきっかけづくりとして、週末にミニコンサートを開催します。3 公演

(9) 企画展① 有三の描いた^{もののふ}武士たち—坂崎出羽守から石谷十蔵まで—（仮称）関連講演会 **再掲**

受託事業（太宰治顕彰事業等・8事業）※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（5事業）

(1) 企画展示① 「杏の実」から「オリムポスの果実」へ —太宰治という師、田中英光の開花（太宰治展示室）

太宰治の弟子 田中英光の生誕 110 年を記念した企画展。田中英光が太宰を訪ねて三鷹に来てから「斜陽」が生まれるまでを紹介します。また、太宰が改題し文壇デビュー作となった「オリムポスの果実」や太宰の妻 美知子が筆記した「鍋鶴」、太宰の死後に田中英光が発表した追悼文を中心に、両者の交流を紹介します。 1 展示

(2) 企画展示②《協働企画展示》 さよならだけが人生だ ―太宰治、林芙美子へ、井伏鱒二の言葉（太宰治展示室）

新宿区立新宿歴史博物館で開催する林芙美子生誕 120 年記念の特別展との連動企画。令和 3 年度の「太宰治と芥川龍之介」に続く協働企画展示です。林芙美子は太宰だけでなく、林芙美子と太宰の師 井伏鱒二とも密接な関わりがある作家です。井伏鱒二の後押しによって活躍の場をもった太宰と林芙美子について紹介します。期間中、参加型イベントを実施します。 1 展示

(3) 企画展示③文学と美術のまじわり―太宰治と旧友画家たち（仮称）（太宰治展示室）

郷里青森の学生時代から、太宰治には画家の友人たちがいました。上京後も同郷の画家がもたらした縁によって、その交流はますます広がりました。三鷹市に津島家から寄託された油絵全作品にくわえ、太宰作品の装幀などに関わった旧友の画家らとの交流、太宰にもたらした美術の影響について紹介します。 1 展示

(4) ブックカフェ機能を持った太宰治文学サロンの運営（太宰治文学サロン）

太宰治文学サロンに「山内祥史文庫」を中心に太宰治の初版本等の資料を開架し、来館者が椅子に座ってコーヒー等を飲みながら本を読むことができるスペースを提供します。また、ボランティアによる太宰治ゆかりの地の案内など、引き続き来館者とボランティアの情報交換と交流の場とします。 1 展示

(5) 吉村昭書斎（仮称）開館準備業務

令和 5 年度に開館を予定している三鷹市ゆかりの文学者である吉村昭を顕彰する文学館施設の整備事業について、文芸部門における実績や専門性を生かしながら市と協力して進めていきます。

2 教育普及事業（3 事業）

(1) 太宰治作品朗読会（太宰治文学サロン）

朗読家・俳優・アナウンサーなど多彩な出演者を招いて、月例の太宰治作品朗読会を実施します。 12 公演



(2) ガイドボランティア事業（太宰治文学サロン）

みたか観光ガイド協会と協働で、来館者（個人・団体）に、太宰治文学サロンの展示や三鷹駅周辺及び近隣にある太宰ゆかりの地を案内します。また、太宰治展示室（美術ギャラリー）への誘導を促し、2 館の回遊性を高めます。 1 講座

(3) **みたか太宰治作品倶楽部（太宰治展示室）**

指定の太宰作品を事前に読んだ参加者が集まって作品の感想を自由に述べ合い、太宰文学の新たな魅力を発掘する読書会を実施します。太宰と弟子が書斎で文芸談義を交わした様子を疑似体験できる、三鷹ならではの企画です。 1 講座

文芸部門合計 21 事業（令和 4 年度比 3 事業増）

その他芸術文化部門

<令和5年度の特徴的な取組等>

- 三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、春季には福島修子（桜井浜江甥行一の妻、新制作協会会員、洋画家）の後期の代表作による個展を、秋季には桜井浜江の初期作品展（仮称）を開催します。また、一般利用の促進に向けた広報活動を行います。

自主事業（2事業）

1 教育普及事業（2事業）

(1) 三鷹市芸術文化センター全部見てくださいツアー

芸術文化センターを身近に感じるきっかけづくりのためのバックステージツアーです。星のホールのお客様が反転する様子を見たり、風のホールのピアノの音を聞き比べてみたり、音楽練習室や美術創作室を見学したりなど、芸術文化センターを全て見ていただきます。 2講座



(2) 三鷹市公会堂探検ツアー

公会堂を身近に感じるきっかけづくりのためのバックステージツアーです。普段見ることのない音響や照明の部屋を巡って機器に触れていただきます。また、参加者が照明卓を操作し、好きなBGMに合わせて、自分のイメージした色の照明を作るといった体験コーナーもあります。 2講座



指定管理事業（1事業）

1 展示事業（1事業）

(1) 桜井浜江企画展事業

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、画家桜井浜江の業績を顕彰するための事業として、企画展を年2回開催します。 2展示

その他芸術文化部門合計3事業（令和4年度比増減なし）

生涯学習事業

<令和5年度の特徴的な取組等>

- 生涯学習講座事業の趣味・教養講座において、利用の少ない時間帯を活用して、新たに英会話の委託講座を実施します。新規
- 夏休み自主学習スペース開放事業において、若い世代の生涯学習センターの利用を促進するため、終了時刻を従来の午後5時から午後8時に延長し、拡充を図ります。
(小学生：午後5時まで 中学生：午後7時まで 高校生以上：午後8時まで)
- Zoom オンライン講座事業において、今までの初級、中級編に加えて、新たによりレベルの高いスキルを習得できる、応用編を実施します。新規

自主事業（5事業）

1 生涯学習講座事業

市民自らがそのライフスタイルやライフステージに沿った学びを通じて、豊かな心を育み、また学んだことを地域に返し、生かしていくという「学びと活動の循環」や、人とのつながりを創出すべく、地域学や趣味、教養などの講座を開催します。

- | | |
|--------------------------|-------|
| ① みたか学 | 3 講座 |
| ② 芸術文化講座（音楽関連、美術関連、文芸関連） | 3 講座 |
| ③ 人財養成講座 | 2 講座 |
| ④ 趣味・教養講座 | 13 講座 |

2 小・中学生向け講座事業

小・中学生が、好奇心や興味を高める体験型の講座を開催します。

- | | |
|----------------------------|------|
| ① 陶芸講座 | 1 講座 |
| ② 三鷹市芸術文化協会連携講座 | 1 講座 |
| ③ ネーミングライツ企業連携講座 | 2 講座 |
| ・スバルものづくり教室（協力：株式会社SUBARU） | |
| ・ラジオ工作教室（協力：日本無線株式会社） | |
| ④ 文化・教養講座 | 4 講座 |
| ⑤ 舞台作品の創作・発表 | 1 講座 |



『夏を書く こども書道』



『言葉であそぶ こども俳句』

3 生涯学習センターフェスティバル開催事業

「生涯学習センターフェスティバル」を開催することにより、様々な生涯学習活動の紹介、発表、ワークショップ（体験）などを通して、来場者に生涯学習の楽しさを伝え、学習への興味・関心をもってもらう機会を提供します。また、生涯学習グループの活動内容や生涯学習センター主催事業を周知することにより、グループの活性化や生涯学習センターの利用促進を図ります。 1回

4 夏休み自主学習スペース開放事業

学校の夏休み期間に合わせ、生涯学習センターの学習室を学生等の自主学習スペースとして開放し、若い世代の生涯学習センターの利用を促進します。終了時刻を従来の午後5時から午後8時に延長し、拡充を図ります。

5 学習スペース開放事業

学習室を個人で利用したいとの要望を踏まえ、学習室5、学習室6及び学習室7について、日曜日の午前9時から午後5時までの時間帯のうち団体予約の入っていない区分を個人で利用できる学習スペースとして開放し、個人の学びを支援します。

※夏休み自主学習スペース開放事業の実施期間中は、実施しません。

指定管理事業（2事業）

1 市民大学事業

(1) 総合コース

「学習の主体は市民にある」という理念の下、市民自らが主体となって地域課題や生活に根差した学習課題などを話し合い、講座を企画・運営します。三鷹に住む学習生同士で議論し合うゼミナール形式による年間継続学習を通して仲間をつくり、その学びの成果を地域や生活の場に生かし広げていくことを目指しています。 5講座（各30回）

(2) 一般教養コース

講義を中心に、基礎的な知識・教養を習得し、自分の生活課題と社会的問題を結び付ける視点を身に付け、地域社会における自分の生き方を探ります。

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① むらさき学苑（60歳以上対象） | 1 講座（全 30 回） |
| ② 子育て講座 | 2 講座（各 10 回） |

(3) 市民講師養成コース

生涯学習の推進役として生涯を通じて学んだことを地域に還元する市民講師を養成します。

- | | |
|--------------|-------------|
| ① 市民講師養成講座 | 1 講座（全 6 回） |
| ② 市民講師デビュー講座 | 3 講座（各 1 回） |

2 生涯学習相談事業

生涯学習相談員により、市民や学習グループが持つ様々な要望や悩みに対し、相談業務を行います。 毎週火曜日～土曜日

受託事業（1事業）

1 Zoomオンライン講座事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、オンラインを活用した講座や会議が増えています。オンラインを利用する市民活動の支援を目的として、Zoom（オンライン会議ツール）の使い方講習会を三鷹市から受託して開催します。

- | | |
|--------------------|------|
| ① Zoomオンライン講座（初級編） | 1 講座 |
| ② Zoomオンライン講座（中級編） | 2 講座 |
| ③ Zoomオンライン講座（応用編） | 1 講座 |

生涯学習事業合計 8 事業（令和 4 年度比増減なし）

広報宣伝・友の会事業

＜令和５年度の特徴的な取組等＞

- 物品販売事業において、令和６年の山本有三没後５０年の記念事業として市場に流通していない山本有三の５作品（「同志の人びと」「嘉門と七郎衛門」「西郷と大久保」「ふしゃくしんみょう」「米百俵」）を１冊の文庫本として復刊し、来館者の興味関心に応えるとともに、企画展や朗読会等の事業と連動させることで、有三作品の周知に努めます。新規

自主事業

＜広報宣伝事業＞

- 1 情報誌（MARCL+）の発行（7,000部 年６回発行）
スポーツ・芸術文化・生涯学習の事業を掲載した冊子の発行。出演者のインタビュー等も取り入れ、魅力的な誌面を提供します。
- 2 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）の発行（160,000部 年６回発行）
市内全戸配付・近隣市区新聞折り込み、みたかシティバス車内掲出により、財団の事業を広報します。
- 3 小田急バス（武蔵境及び吉祥寺営業所管内全バス）車内中吊りポスターの掲出
- 4 財団ホームページやツイッター、メールマガジンを活用した事業のPR
- 5 出演者インタビュー・担当者による事業紹介動画を財団ホームページ上で配信
- 6 三鷹市報への事業掲載、プレスリリースほか
- 7 三鷹駅周辺等の協力店（チケットパートナーショップ）との連携による主催公演チケット購入者へのサービス、情報誌の掲出

＜友の会運営事業＞

- 1 会員の新規募集及び管理運営（個人会員約3,600人、グループ会員５団体）

＜物品販売事業＞

- 1 財団オリジナル商品の販売及び山本有三・太宰治に関連した商品の受託販売
- 2 太宰治グッズ（鉛筆）の増刷及び山本有三グッズ（復刻本）等の新規作成

施設管理・全館融合事業

＜令和５年度の特徴的な取組等＞

- 指定管理事業において、令和４年度に新たに指定管理者の指定を受けた三鷹市大沢野川グラウンドについて、令和５年５月から施設運営を開始します。新規
- 受託事業において、これまで三鷹市から請け負ってきた元気創造プラザの施設管理業務について、より一体的な施設運営を行うための全館融合業務（元気創造プラザ内の各施設で構成する連携委員会の設置、全館イベントの開催等）を新たに市から受託し実施します。新規

指定管理事業（12事業）

三鷹市が設置した下記施設のそれぞれの条例、条例施行規則等に基づき、指定管理者として、利用者の安全性の向上を図るために施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、利用者サービスの向上に持続的に取り組みます。

指定管理施設	指定管理期間
三鷹市芸術文化センター	令和元年４月１日から令和６年３月31日まで（５年間）
三鷹市公会堂	
三鷹市美術ギャラリー	
みたか井心亭	
三鷹市山本有三記念館	
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー	令和４年４月１日から令和６年３月31日まで（２年間）
SUBARU 総合スポーツセンター *1	令和４年４月１日から令和９年３月31日まで（５年間）
三鷹市新川テニスコート	
三鷹市大沢総合グラウンド	
三鷹市生涯学習センター	
三鷹中央防災公園	
三鷹市大沢野川グラウンド	令和５年２月１日から令和９年３月31日まで（４年２カ月間）

*1 SUBARU 総合スポーツセンターは、弓道場・アーチェリー場を含む。

受託事業（２事業）

1 太宰治文学サロン管理運営業務 **再掲**

三鷹市から太宰治文学サロンの管理運営業務を受託し、太宰治を通じ多くの市民が訪れ、交流できる拠点として整備します。

2 元気創造プラザ施設管理業務

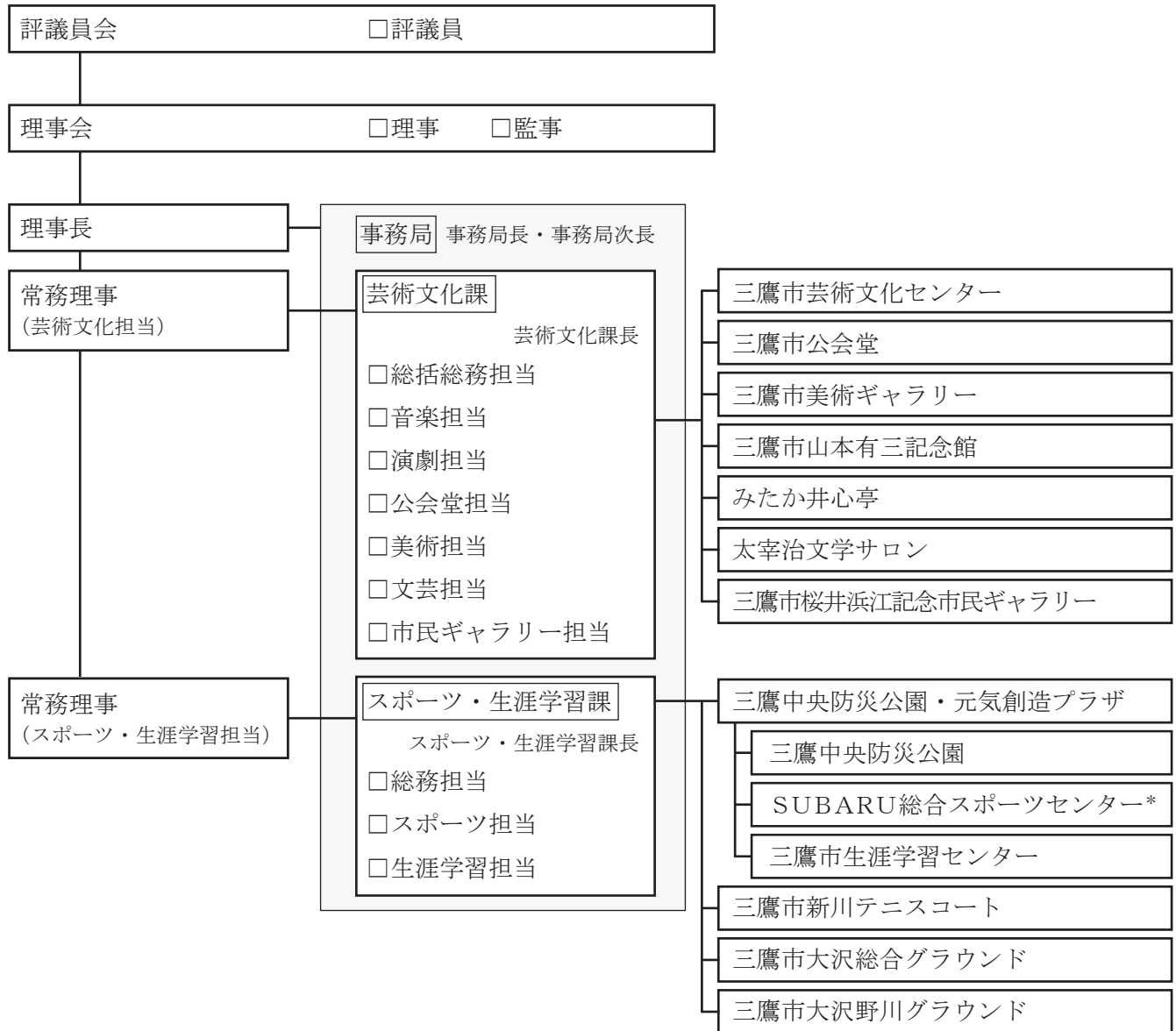
三鷹市から元気創造プラザの三鷹市直営施設部分及び共有部分の管理業務（設備管理業務、清掃業務、受付案内業務等）を受託し効率的な管理運営を行います。

3 元気創造プラザ全館融合業務

三鷹市から「元気創造プラザ全館融合業務」を新たに受託し、より一体的な施設運営を進めていきます。

受託業務	受託期間
太宰治文学サロン管理運営業務 再掲	令和５年４月１日から令和６年３月31日まで（１年間）
元気創造プラザ施設管理業務	
元気創造プラザ全館融合業務	

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団組織図



*SUBARU総合スポーツセンターは、
弓道場・アーチェリー場を含む。